教育講演会(無料)

テーマ:　　創造性教育に関する実践的研究

– 小学校における創造性教育の実践と効果の測定–

日時:　2013.5.25(土)　　PM15:40(集合) ⇒PM:16:00(開始)

会場:　日本経済大学渋谷キャンパス　大学院 10 号館　246 ホール

講師:　弓野 憲一 (静岡大学名誉教授/日本創造学会会長)

　　塩田 真吾 (静岡大学教育学部 専任講師)

主催:　日本創造学会

会場までの案内図

創造性教育に関する実践的研究

- 小学校における創造性教育の実践と効果の測定 -

▸ **発表者：**

弓野 憲一（静岡大学 名誉教授 / 日本創造学会 会長）

専門は教育心理学，創造性教育。教育学博士。コーネル大で，思考力・創造力を伸ばすアメリカの大学・大学院教育に触れ，なぜ日本の大学ではそれが難しいかを考察する。以後，創造性を育てることのできる教師を養成するべく，大学や小中学校の授業を通して研究・実践を重ねる。

塩田 真吾（静岡大学教育学部 専任講師 / 日本創造学会 会員）

専門は教育工学，創造性教育。博士（学術）。弓野先生とともに静岡において創造性教育研究会を開催し，特に初等教育及び教員養成課程における創造性教育について研究・実践を重ねる。

▸ **発表要旨：**

新教育基本法では，「個人の尊厳を重んじ，真理と正義を希求し，公共の精神を尊び，豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成を期するとともに，伝統を継承し，新しい文化の創造を目指す教育を推進する」とあるように，「創造性の育成」が重点目標として挙げられています。しかし，日本の学校教育，特に初等・中等教育においては，創造性の育成は軽視され（斎藤 2012），創造性教育の実践も十分であるとは言い難いのが現状です。

では，なぜ創造性の育成は軽視されてしまうのでしょうか。ひとつは，創造性教育の実践事例の少なさ，特に各教科領域での実践事例の少なさと効果測定の不十分さが挙げられます。多忙を極める現場の教員にとって，具体的なイメージを持ちにくく，その効果が十分に測定・検証されていない「創造性教育」は，どうしても従来の「学び」の教育に押され，結果的に創造性の育成そのものが軽視される結果になってしまいます。新学習指導要領において小学校の総合的な学習の時間が削減されたことを踏まえると，今後の創造性教育の普及のためには，各教科における多様な創造性教育の実践事例とその効果の検証が求められます。また同時に，そうした創造性教育を指導する教員の養成も課題として挙げられるでしょう。

そこで本発表では，初等教育における創造性教育の必要性や小学校における教科での創造性教育の実践とその効果測定の取り組み，さらには教員養成課程における創造性教育の取り組みを紹介しながら，学校教育において創造性教育をどのように進めるべきか，参加者のみなさまと議論出来ればと考えております。

▸ **キーワード：** 創造性教育，学校教育，小学校，教員養成，「学び」と「創り」，効果測定

【参考文献】

齋藤浩（2012）「学校教育が創造力の育成を軽視する要因」，佛教大学教育学部学会紀要第 11 号，pp79-89

塩田真吾，弓野憲一（2011）「学生教師の創造的授業力の育成の試み」，第 33 回日本創造学会全国大会，pp31-32

弓野憲一（2005）『世界の創造性教育』，ナカニシヤ出版